

令和4年度事業報告

税のオピニオンリーダーとして、国の根幹とも言える「税」に関する活動に軸足を置き、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与するとともに、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体として、新型コロナウイルス感染症の発生状況をみながら、実施可能な税の啓発活動、地域社会貢献活動等の各種事業や異業種交流等の研鑽を重ねました。

(1) 公益目的事業の積極的な展開と取組み

法人会活動の原点である「税知識の普及、及び税に関する啓発活動」については、公益目的事業として例年行っている租税教室を、平佐西小学校、市比野小学校、永野小学校において実施いたしましたが、夏場のコロナ禍により、各種イベント開催時に行ってきた税金クイズは、イベントの中止により残念ながら開催することができませんでした。

地域社会貢献活動においても、コロナ禍の状況の中、地域管内で活動する様々な団体の実施する各種イベント等が約半数以上が中止となり、コロナ禍の影響を受けない事業のみ、助成金制度を活用し事業支援を行いました。

また、新設法人を対象として、会社の税金や労務関係についての説明を行う、新設法人説明会を開催したほか、例年開催している税務研修会として、インボイス制度の説明や、国税庁の年末調整説明会に替わる説明会等を管内3箇所において実施しました。

青年部会では、地域社会貢献活動として、管内において4年ぶりに大規模等清掃活動のロードクリーン作戦を実施いたしました。また、例年、租税教室の事例発表等が競われる鹿児島県法人会連合会青年部会連絡協議会主催の「青年の集い in 奄美大会」につきましては、税の啓発活動の継続的な実現を目的として参加いたしました。

女性部会では、鹿児島県法人会連合会や県教育委員会等と連携し、管内小・中学校への「税の絵はがきコンクール」、「手作り雑巾寄贈運動」を実施するとともに、「川内駅前フラワーポットの植栽」や「確定申告会場の川内税務署への花ポット設置」など、税

の啓蒙啓発や地域社会貢献活動に取り組みました。

広報活動では、ホームページや広報誌を利用した e-Tax の推進や税の啓発等、様々な税情報の発信を行うなど公益性の向上に努めました。

(2) 地域企業の支援を目的とした活動の実施

企業経営の健全化、並びにその発展向上に資するため、税務・労務・経営等に関する各種研修会を開催するとともに、企業間情報についても、コロナ禍に対応した交流の場を設け企業の発展支援を行いました。

また、法人認可を受け40周年を迎える節目の年に、落語家「林家たい平氏」を招聘し、会員及び住民向けに無料講演会を実施しました。

(3) 組織の強化と充実

組織委員会と厚生委員会を中心として、会員拡大や福利厚生制度の充実、推進を行いました。また、例年実施している新入会員歓迎会については、コロナ禍により今年度も延期といたしましたが、コロナ禍に対応した各種交流事業の開催により会員相互の情報交換や親睦を図ったほか、引き続き本年度もウイズコロナ対策の法律知識関連、また令和4年1月施行の改正電子帳簿保存法や健康経営実践方法の解説などの税務・経営関係小冊子配布の回数を増やすなど、組織運営の充実、強化に取り組みました。

青年部会では、本会事業の原動力として、租税教育活動や、地域社会貢献活動、会員企業における健康経営宣言の取組などを率先して実施しました。

支部においては、支部主管のもと清掃活動や地域イベントへの支援など各種の活動を行いました。

また、組織としては地域企業や地域社会が求める、公益の増進を自発的に実施する公益セクターとして、公益法人制度に基づくガバナンスの確立を図るため、適正な運営を目指した活動の実施に努めました。